



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社エクストリーム 上場取引所 東
コード番号 6033 URL <https://www.e-xtrême.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 CEO （氏名）佐藤 昌平
問合せ先責任者 （役職名）取締役 管理本部長 （氏名）島田 善教 TEL 03-5949-2003
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,644	0.8	665	△18.8	721	△9.8	458	△14.4
2025年3月期中間期	5,597	15.7	819	26.8	799	△10.0	535	△7.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 478百万円（△4.0％） 2025年3月期中間期 498百万円（△25.0％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	85.65	85.60
2025年3月期中間期	98.31	98.25

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	8,741	6,433	69.8
2025年3月期	8,580	6,208	68.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 6,104百万円 2025年3月期 5,860百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	57.00	57.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△3.0	1,000	△34.1	963	△42.1	616	△45.5	115.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 (中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	5,507,676株	2025年3月期	5,507,676株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	153,968株	2025年3月期	153,968株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	5,353,708株	2025年3月期中間期	5,449,734株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国の経済は、賃上げやインバウンド需要の拡大で緩やかに回復した一方、急激な為替変動や物価上昇、米国の関税政策などによる不安材料が存在しており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが提供する各種サービスにおいては、これらの影響を直接的に受けることはなく、「デジタル人材事業」「受託開発事業」「コンテンツプロパティ事業」を積極的に展開し、取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は5,644,979千円(前年同期比0.8%増)、営業利益は665,330千円(前年同期比18.8%減)、経常利益は721,097千円(前年同期比9.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は458,521千円(前年同期比14.4%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<デジタル人材事業>

デジタル人材事業は、ゲーム・スマートフォンアプリ・WEB・IT企業などに対し、プログラミング・グラフィック開発スキルを持った当社社員(クリエイター&エンジニア)が顧客企業に常駐し、開発業務を提供しております。

当中間連結会計期間においては、ゲーム業界は引き続き厳しい市場環境ではあるものの、非エンターテインメント市場において、企業のDX推進などによる技術ソリューションに対する旺盛な需要を背景に、受注が好調に推移いたしました。なお、稼働プロジェクト数は4,945(前年同期稼働プロジェクト数は4,689)となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,444,280千円(前年同期比7.5%増)、セグメント利益は411,445千円(前年同期比5.8%増)となりました。

<受託開発事業>

受託開発事業は、主にデジタル人材事業を通じて顧客から持ち込まれるスマートフォンアプリ開発案件、クラウドプラットフォーム構築、CRM(Customer Relationship Management)構築～導入～運用など、案件を持ち帰り形式にて受託し、納品するサービスを提供しております。案件種別としては、「新規開発」「保守・運用」「追加開発」「ラボ型開発」の4つに大別されます。

子会社の株式会社エクストラボ、EXTREME VIETNAM Co.,Ltd.、エス・エー・エス株式会社、酒田エス・エー・エス株式会社についても当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、企業のデジタル施策への投資拡大を背景に、引き続き受注獲得が順調に進んだ結果、開発リソースの安定的稼働が採算性の向上に寄与しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は1,810,290千円(前年同期比16.8%増)、セグメント利益は420,250千円(前年同期比3.8%増)となりました。

<コンテンツプロパティ事業>

コンテンツプロパティ事業は、当社が保有するゲーム・キャラクター等の知的財産を活用し、様々な事業展開を行うセグメントであり、具体的には、ゲーム開発・販売・運営のほかに、当社が保有するゲームタイトル又はキャラクターなどを様々な商材へ使用許諾を行うライセンス事業が含まれております。

子会社の株式会社Dragami Gamesは当該事業に含まれます。

当中間連結会計期間においては、当社が権利保有するゲームタイトルのライセンス収益の他、株式会社Dragami Gamesにおいて発売しているゲームの販売額も発生しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は442,420千円(前年同期比50.4%減)、セグメント利益は262,628千円(前年同期比31.2%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 総資産・負債・純資産の状況

(総資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、8,741,161千円となり、前連結会計年度比161,049千円の増加(前連結会計年度比1.9%増)となりました。これは主に、現金及び預金が96,632千円、有価証券が26,963千円、製品が22,559千円、仕掛品が70,664千円、投資有価証券が21,149千円、それぞれ増加した一方、売掛金が54,455千円、のれんが16,609千円、その他(投資その他の資産)が15,319千円、それぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、2,307,770千円となり、前連結会計年度比63,429千円の減少(前連結会計年度比2.7%減)となりました。これは主に、未払金が41,622千円、賞与引当金が16,771千円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が9,600千円、未払法人税等が84,768千円、その他(流動負債)が18,994千円、それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、6,433,391千円となり、前連結会計年度比224,479千円の増加(前連結会計年度比3.6%増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益458,521千円の計上により利益剰余金が233,665千円、その他有価証券評価差額金が14,702千円増加した一方、非支配株主持分が19,456千円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ623,639千円増加し、4,672,747千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は441,549千円(前年同期は363,524千円の収入)となりました。これは、主に棚卸資産の増加額93,222千円及び法人税等の支払額334,205千円があったものの、税金等調整前中間純利益721,097千円などにより資金獲得したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は447,164千円(前年同期は297,693千円の支出)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出22,808千円があったものの、定期預金の払戻による収入480,446千円などにより資金獲得したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は272,569千円(前年同期は527,277千円の支出)となりました。これは、主に配当金の支払額229,219千円などにより資金使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、2025年5月14日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,605,862	4,702,494
売掛金	1,223,195	1,168,740
有価証券	264,520	291,483
製品	434	22,994
仕掛品	143,162	213,827
その他	155,905	155,539
貸倒引当金	△382	△396
流動資産合計	6,392,698	6,554,683
固定資産		
有形固定資産	139,989	138,693
無形固定資産		
ソフトウェア	44,058	38,242
ソフトウェア仮勘定	—	16,957
のれん	152,256	135,646
無形固定資産合計	196,315	190,846
投資その他の資産		
投資有価証券	1,499,078	1,520,228
その他	360,556	345,237
貸倒引当金	△8,527	△8,527
投資その他の資産合計	1,851,108	1,856,938
固定資産合計	2,187,413	2,186,478
資産合計	8,580,111	8,741,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	650,000	650,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,600	—
未払金	934,121	975,743
未払法人税等	330,604	245,835
賞与引当金	165,588	182,359
受注損失引当金	3,123	—
その他	260,367	241,373
流動負債合計	2,358,405	2,295,312
固定負債		
退職給付に係る負債	12,335	11,998
その他	458	458
固定負債合計	12,793	12,457
負債合計	2,371,199	2,307,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,187	424,187
資本剰余金	417,994	421,001
利益剰余金	5,118,430	5,352,096
自己株式	△200,981	△200,981
株主資本合計	5,759,631	5,996,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,972	108,675
為替換算調整勘定	6,560	△878
その他の包括利益累計額合計	100,533	107,796
新株予約権	14,687	14,687
非支配株主持分	334,059	314,603
純資産合計	6,208,912	6,433,391
負債純資産合計	8,580,111	8,741,161

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,597,599	5,644,979
売上原価	3,855,889	3,902,240
売上総利益	1,741,710	1,742,738
販売費及び一般管理費	922,627	1,077,408
営業利益	819,082	665,330
営業外収益		
受取利息	56,404	51,253
受取配当金	—	1
為替差益	—	11,992
持分法による投資利益	4,877	—
その他	8,609	519
営業外収益合計	69,891	63,766
営業外費用		
支払利息	2,034	3,389
支払手数料	4,012	3,221
為替差損	83,735	—
その他	0	1,388
営業外費用合計	89,781	7,999
経常利益	799,193	721,097
特別利益		
新株予約権戻入益	3,208	—
特別利益合計	3,208	—
税金等調整前中間純利益	802,401	721,097
法人税等	277,905	250,275
中間純利益	524,496	470,821
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△11,260	12,300
親会社株主に帰属する中間純利益	535,757	458,521

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	524,496	470,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,960	14,702
為替換算調整勘定	△8,368	△7,438
その他の包括利益合計	△26,328	7,263
中間包括利益	498,167	478,085
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	509,428	465,784
非支配株主に係る中間包括利益	△11,260	12,300

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	802,401	721,097
減価償却費	30,286	29,694
のれん償却額	16,609	16,609
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,174	16,771
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△161	13
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△733	△336
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△18,899	△3,123
受取利息	△56,404	△51,253
支払利息	2,034	3,389
為替差損益(△は益)	90,904	△1,790
持分法による投資損益(△は益)	△4,877	—
売上債権の増減額(△は増加)	△468,638	52,870
棚卸資産の増減額(△は増加)	132,183	△93,222
未払金の増減額(△は減少)	9,595	47,800
その他	△62,334	△53,105
小計	482,142	685,416
利息の受取額	56,234	58,636
利息の支払額	△1,671	△3,672
法人税等の還付額	69,436	35,374
法人税等の支払額	△242,616	△334,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,524	441,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△513,348	—
定期預金の払戻による収入	294,987	480,446
保険積立金の解約による収入	5,380	—
有形固定資産の取得による支出	△6,265	△19,013
無形固定資産の取得による支出	△54,633	△22,808
投資有価証券の取得による支出	△63,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 売却による収入	147,064	—
差入保証金の差入による支出	△120,528	△16,984
差入保証金の回収による収入	12,650	25,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△297,693	447,164
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,280	△9,600
社債の償還による支出	△5,000	△5,000
自己株式の取得による支出	△99,925	—
株式の発行による収入	107	—
配当金の支払額	△203,866	△229,219
非支配株主への配当金の支払額	△4,313	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 取得による支出	—	△28,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527,277	△272,569
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,356	7,495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△507,803	623,639
現金及び現金同等物の期首残高	3,532,031	4,049,107
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,024,228	4,672,747

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金	3,577,508千円	4,702,494千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△779,108千円	△324,810千円
流動資産その他(預け金)	869千円	3,579千円
有価証券(MMF)	224,958千円	291,483千円
現金及び現金同等物	3,024,228千円	4,672,747千円

※2 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

株式の売却により連結子会社でなくなった株式会社E P A R Kテクノロジーズの連結除外時の資産及び負債の内容並びに株式の売却価額と連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入との関係は、次のとおりであります。

流動資産	645,158 千円
固定資産	120,140
流動負債	△150,427
非支配株主持分	△256,196
株式売却額	358,674
現金及び現金同等物	△211,610
差引: 連結範囲の変更を伴う 子会社株式の売却による収入	147,064

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,156,388	1,549,907	891,304	5,597,599	—	5,597,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,371	200	—	47,571	△47,571	—
計	3,203,759	1,550,107	891,304	5,645,171	△47,571	5,597,599
セグメント利益	388,808	404,911	381,563	1,175,283	△356,200	819,082

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタル 人材事業	受託開発 事業	コンテンツ プロパティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,392,667	1,810,290	442,020	5,644,979	—	5,644,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	51,612	—	400	52,012	△52,012	—
計	3,444,280	1,810,290	442,420	5,696,991	△52,012	5,644,979
セグメント利益	411,445	420,250	262,628	1,094,324	△428,993	665,330

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。